平成31年度　地理歴史

学校番号	2001

教科	科目	必修／選択	単位数	指導学年
地理歴史	世界史A	必修	1+1	第1年次前期・後期

教科書・副読本・問題集 No.	分類	教材名
①	教科書	現代の世界史（山川）
②	副読本	最新世界史図説タペストリー
③		
④		
⑤		
⑥		
⑦		
⑧		
⑨		
⑩		
⑪		

学習の到達目標

近現代史中心とする世界の歴史を諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、現代社会の諸課題を歴史的観点から考察することによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を身につける。（主に帝国主義時代から現代までを扱う。）

教科からのメッセージ（学習方法 等）

様々な資料や史料を読み解き、その時代の特質や他の地域とのつながりや共通性・異質性を理解してほしい。また歴史のタテ軸、すなわち各地域・各国史ごとにとらえる視点も重要です。世界史が単に事件の羅列ではなく、1つ1つつながって、全体像が見えるようになってほしい。

特記事項

必履修科目。「世界史A」または「世界史B」を卒業までに必ず履修しなければならない。

学習評価（評価規準と評価方法）

観点		観点の趣旨	主な評価方法
A	関心・意欲・態度	歴史的事象に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責任を果たそうとする。	VTR視聴プリント、ノート作成
B	思考・判断・表現	歴史的事象から課題を見いだし、我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色を世界的視野に立って多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	定期考査、発問に答える、ノート作成
C	資料活用の技能	歴史的事象に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。	定期考査、ノート・レポート作成
D	知識・理解	我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色についての基本的な事柄を理解し、その知識を身につけている。	定期考査
E			

年間（学期間）指導計画

学期	期間	教材	単元	配当時間	学習内容	評価観点	単元目標（CAN-DO）／単元（題材）の評価規準	主な学習活動	主な評価方法	評価
前期	第一中間まで	① ②	前近代の世界 近代の世界 現代社会の特徴 欧米による世界の分割（1）	12	前近代～近代の世界史 高度資本主義社会と大衆社会(ABCD) 民主主義と国民国家(ABCD) 帝国主義の成立(ABCD) 帝国主義列強の内政(ABCD)	A B C D	前近代から近代の歴史を踏まえ、世界地理や国家を知りながら、帝国主義時代の歴史を理解する。(ABCD) 第2次産業革命で誕生した、現代の生活に必要な科学技術や文化を知る。(ABCD) 欧米列強が各国の歴史的経緯や社会情勢を踏まえて展開した帝国主義政策の特徴をつかむ。(ABCD)	ノート・プリント作成 発問に答える ビデオ学習	日常的な課題 定期考査	5 4 3 2 1
前期	第二中間まで	① ②	欧米による世界の分割（2） 民族運動と列強の対立	12	アフリカの分割(ABCD) アメリカと太平洋の分割(ABCD) 中国の半植民地化と民族運動(ABCD) インド・東南アジアの民族運動(ABCD) 西アジアの抵抗運動(ABCD)	A B C D	欧米列強によるアジア・アフリカ等の植民地化とそれに伴う抗争を理解する。(ABCD) 列強による侵略に対し、アジア・アフリカ諸国がどのようなを対応したか、また課題は何かについて理解する。(ABCD)	ノート・プリント作成 発問に答える ビデオ学習 レポート作成	日常的な課題 定期考査	5 4 3 2 1
前期	期末まで	① ②	第1次世界大戦とロシア革命 ヴェルサイユ体制と欧米諸国	12	第一次世界大戦(ABCD) ロシア革命(ABCD) ヴェルサイユ体制とワシントン体制(ABCD) 1920年代の欧米諸国(ABCD)	A B C D	人類史上初の世界大戦がいかにして起こったのか、またその特徴などについて理解する。(ABCD) ロシア革命によるソ連の誕生が世界史上に与えた影響について理解する。(ABCD) ヴェルサイユ体制とワシントン体制の特徴とその課題について理解する。(ABCD)	ノート・プリント作成 発問に答える ビデオ学習	日常的な課題 定期考査 調査・研究・発表	5 4 3 2 1
後期	第一中間まで	① ②	戦間期の民族運動 世界恐慌とファシズム	12	朝鮮・中国の民族運動(ABCD) インド・東南アジアの独立運動(ABCD) 西アジアの情勢(ABCD) 世界恐慌とその対策(ABCD) ファシズムの台頭(ABCD)	A B C D	アジア各地域の民族運動の展開や課題、それらに対する宗主国の対応について理解する。(ABCD) 世界恐慌への各国の対応から、国際対立が深まり、第二次世界大戦へとつながっていった経緯を理解する。(ABCD)	ノート・プリント作成 発問に答える ビデオ学習	日常的な課題 定期考査	5 4 3 2 1
後期	第二中間まで	① ②	第二次世界大戦 冷戦の形成と第三世界の登場	12	日中戦争(ABCD) 第二次世界大戦(ABCD) 冷戦の成立(ABCD) アジアの独立(ABCD) 第三世界の登場(ABCD)	A B C D	第二次世界大戦・日中15年戦争の経緯を踏まえ、第一次世界大戦をはるかに上回る被害をまねいたことから、平和の大切さを理解する。(ABCD) 第二次世界大戦後の米ソ両陣営の対立と日本の動向、アジア・アフリカの民族運動と植民地支配からの独立を理解する。(ABCD)	ノート・プリント作成 発問に答える ビデオ学習 レポート作成	日常的な課題 定期考査 調査・研究・発表	5 4 3 2 1
後期	期末まで	① ②	多極化と緊張緩和 冷戦の変質と終結 冷戦後の世界	12	米ソの平和共存と中ソ対立(ABCD) 西側陣営の多極化(ABCD) 第三世界の分岐(ABCD) 冷戦の変質(ABCD) 冷戦の終結(ABCD) 現在の世界(ABCD)	A B C D	二大陣営の対立から多極化・多様化する世界、1970年代以降の市場経済のグローバル化、冷戦の終結などを理解し、世界の人々が強調し共存できる持続可能な社会の実現について展望することができる。(ABCD)	ノート・プリント作成 発問に答える ビデオ学習	日常的な課題 定期考査	5 4 3 2 1